

## STUDIO L & XL

High-End Studio Control and Communication Center with Midas Preamps, 192 kHz 2x2 / 2X4 USB Audio Interface and VCA Stereo Tracking

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (14"TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたら、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

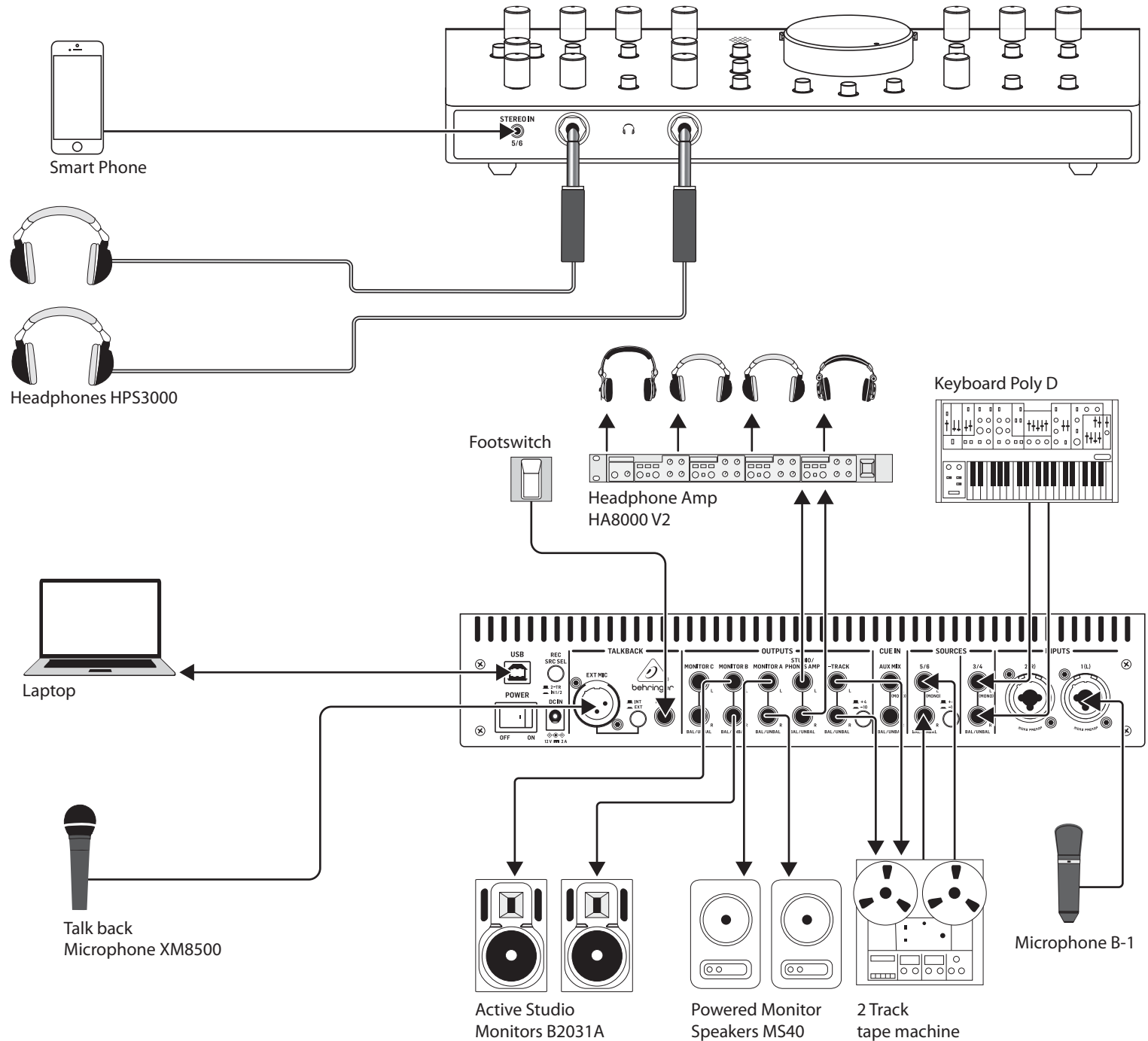
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [musictribe.com/warranty](https://musictribe.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

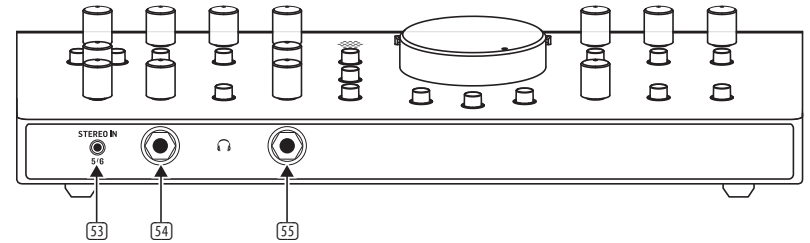
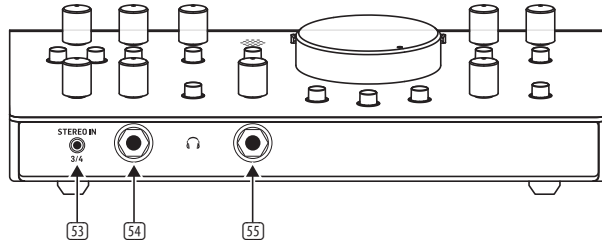
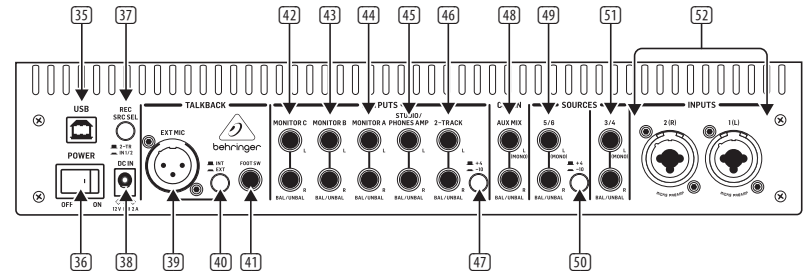
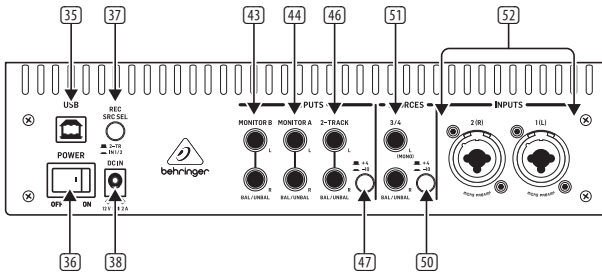
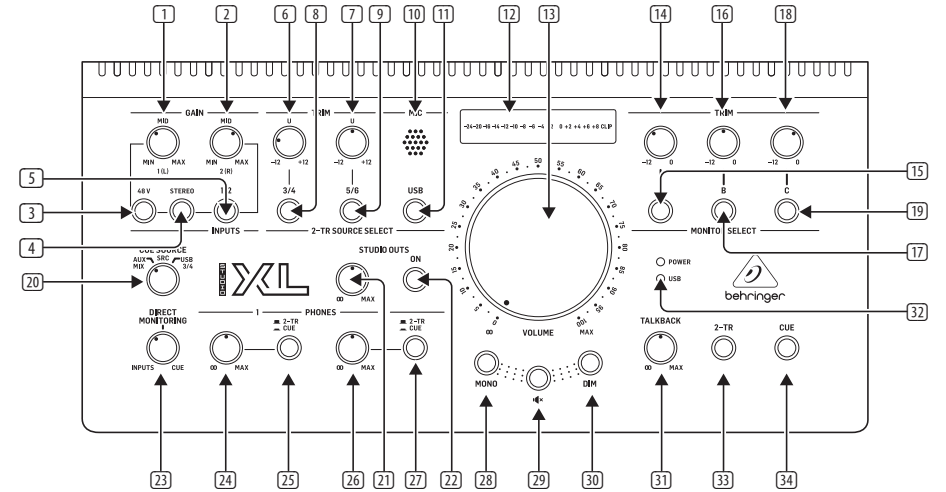
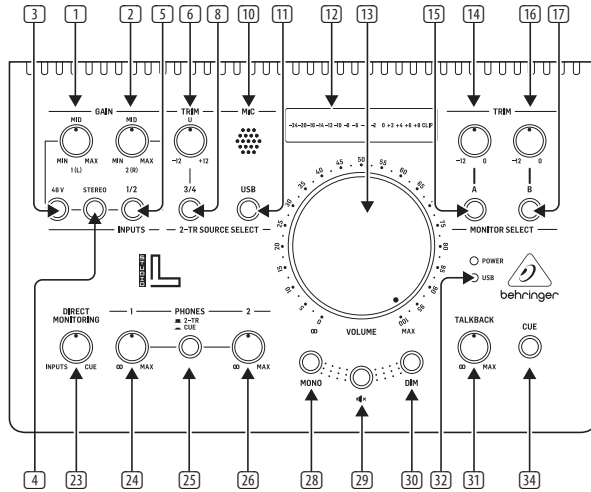
# STUDIO L & XL フックアップ

## ステップ 1: フックアップ



# STUDIO L & XL コントロール

## ステップ 2: コントロール



# STUDIO L & XL コントロール

## ステップ 2: コントロール

- ① **INPUT 1 GAIN** –制御により、入力信号にゲインを適用できます。
- ② **INPUT 2 GAIN** –制御により、入力信号にゲインを適用できます。
- ③ **48 V** – 入力 1 および 2 に 48V ファンタム電源を給電します。
- ④ **STEREO (ステレオ)** – 入力 1 および 2 の、モノラル / ステレオ切り替えに使用します。
- ⑤ **INPUT 1/2 SELECT (入力 1/2 選択)** – モニターソースとして入力 1/2 を選択します。
- ⑥ **TRIM 3/4 (トリム 3/4)** – ライン入力 3/4 の  $\pm 12$  dB レベルコントロールです。
- ⑦ **TRIM 5/6 (トリム 5/6)** – ライン入力 5/6 の  $\pm 12$  dB レベルコントロールです (STUDIO XL のみ)。
- ⑧ **INPUT 3/4 SELECT (入力 3/4 選択)** – モニターソースに入力 3/4 を選択します。
- ⑨ **INPUT 5/6 SELECT (入力 5/6 選択)** – モニターソースに入力 3/4 を選択します (STUDIO XL のみ)。
- ⑩ **MIC** – 2トラック (STUDIO XL のみ) またはキュー出力通信に使用されます。
- ⑪ **USB SELECT (USB 選択)** – USB 1/2 をモニターソースに選択します。
- ⑫ **メーター** – 選択したソースの現在のレベルを表示します。
- ⑬ **VOLUME (音量調節)** – モニター出力に送信するレベルを調節します。
- ⑭ **MONITOR A TRIM (モニター A トリム)** – MONITOR A の出力レベルを  $-12$  dB  $\sim$  0 dB の間で調節します。
- ⑮ **MONITOR A SELECT (モニター A 選択)** – MONITOR A に接続したスピーカーの有効 / 無効を切り替えます。
- ⑯ **MONITOR B TRIM (モニター B トリム)** – MONITOR B の出力レベルを  $-12$  dB  $\sim$  0 dB の間で調節します。
- ⑰ **MONITOR B SELECT (モニター B 選択)** – MONITOR B に接続したスピーカーの有効 / 無効を切り替えます。
- ⑱ **MONITOR C TRIM (モニター C トリム)** – MONITOR C の出力レベルを  $-12$  dB  $\sim$  0 dB の間で調節します (STUDIO XL のみ)。
- ⑲ **MONITOR C SELECT (モニター C 選択)** – MONITOR C に接続したスピーカーの有効 / 無効を切り替えます (STUDIO XL のみ)。
- ⑳ **CUE SOURCE (キュー ソース)** – Aux Mix 入力、選択した 2-TR ソース、または USB 入力 3/4 のいずれかをキューバスに送信します (STUDIO XL のみ)。
- ㉑ **STUDIO OUT (スタジオアウト) コントロール** – Studio Out のレベルを調節します (STUDIO XL のみ)。
- ㉒ **STUDIO OUT ON (スタジオアウト オン)** – Studio Out の有効 / 無効を切り替えます (STUDIO XL のみ)。
- ㉓ **INPUTS/CUE (入力 / キュー)** – 入力ソースとキューバス信号をブレンドします。
- ㉔ **PHONES 1 LEVEL (ヘッドフォン 1 音量)** – ヘッドフォン出力 1 の音量を設定します。
- ㉕ **電話 12TR / キュー** (ヘッドフォン 12TR / キュー) – 2トラックソースまたはキュービックソースのいずれかを選択します。(STUDIO L の電話 1+2、STUDIO XL の電話 1 の場合)。
- ㉖ **PHONES 2 LEVEL (ヘッドフォン 2 音量)** – ヘッドフォン出力 2 の音量を設定します。
- ㉗ **PHONES 2 2TR / CUE** – 2トラックソースまたはキューバスソースのいずれかを選択します (STUDIO XL のみ)。
- ㉘ **MONO** – スイッチは、MONITOR スピーカー出力からステレオ入力信号をモノラル信号に変換します。
- ㉙ **MUTE** – MONITOR スピーカー出力に送られる信号を無音にします。
- ㉚ **DIM** – MONITOR スピーカー出力に送られる信号を 20 dB 減らします。
- ㉛ **TALKBACK (トークバック)** – TALKBACK マイクのゲインを調節する、レベルコントロールです。
- ㉜ **POWER / USB** – これらの LED は、デバイスの電源がオンになっていて、コンピューターへのアクティブな USB 接続があるかどうかを示します。
- ㉝ **TO 2-TRACK** – ボタンは TALKBACK MIC 信号を 2-TRAC K 出力に送信します (STUDIO XL のみ)。
- ㉞ **TO CUE (キューに送信)** – トークバック マイク信号を、キューバスに送信するボタンです。
- ㉟ **USB** – コンピューターに接続し、2 入力 / 2 出力のサウンドカードとして (STUDIO L)、または 2 入力 / 4 出力 (STUDIO XL) のサウンドカードとして使用します。
- ㊱ **POWER (電源)** – ユニットのオン / オフを切り替えます。
- ㊲ **REC SRC SEL** – 2トラックまたは入力 1/2 のみのいずれかを、録音ソースとして選択するボタンです。
- ㊳ **DC INPUT (電源アダプター入力)** – 付属のパワーサプライを接続します。
- ㊴ **EXT MIC** – トークバックに使用する外部マイクを入力するための端子 (STUDIO XL のみ)。
- ㊵ **TALKBACK (トークバック) 選択** – 内部マイクまたは外部マイクのいずれかをトークバックマイクとして選択します (STUDIO XL のみ)。
- ㊶ **FOOTSW (フットスイッチ)** – 標準的なフットスイッチを接続し、トークバックのオン / オフをトグルします (STUDIO XL のみ)。
- ㊷ **MONITOR C (モニター C)** – バランスまたはアンバランスのラインレベル モニター C 出力 (STUDIO XL のみ)。
- ㊸ **MONITOR B (モニター B)** – バランスまたはアンバランスのラインレベル モニター B 出力。
- ㊹ **MONITOR A (モニター A)** – バランスまたはアンバランスのラインレベル モニター A 出力。
- ㊺ **STUDIO/PHONES AMP (スタジオ / ヘッドフォンアンプ)** – バランスまたはアンバランスのラインレベル出力 (STUDIO XL のみ)。
- ㊻ **2-TRACK** – バランスまたはアンバランスのラインレベル 2TRACK 出力。
- ㊼ **+4/-10** – 2TRACK 出力のレベルを、+4 dB または -10 dB のいずれかに切り替えます。
- ㊽ **CUE IN** – バランスまたはアンバランスのラインレベル AUX MIX 入力 (STUDIO XL のみ)。
- ㊾ **INPUT 5/6** – バランスまたはアンバランス ラインレベル入力。
- ㊿ **+4/-10 – STUDIO L** の入力 3/4 または STUDIO XL の入力 5/6 を、+4 dB もしくは -10 dB のいずれかに切り替えます。
- ① **INPUT 3/4 (入力 3/4)** – バランスまたはアンバランスのラインレベル入力。
- ② **INPUT 1/2 (入力 1/2)** – バランスまたはアンバランスのマイクもしくはラインレベル入力。
- ③ **STUDIO L の入力 3/4 または STUDIO XL の入力 5/6** – 3.5 mm (1/8") バランス ステレオ ラインレベル入力。
- ④ **ヘッドフォン 1** – 6.35 mm (1/4") ジャック。
- ⑤ **ヘッドフォン 2** – 6.35 mm (1/4") ジャック。

# STUDIO L & XL はじめに

## ステップ 3: はじめに

- 1 背面パネルの POWER (電源) ボタンを押し、“OFF” にします (凸の状態)。
- 2 音量と全 TRIM コントロールの位置を左側いっぱいに変更します。
- 3 全 SOURCE SELECT、MONITOR SELECT スイッチとルーティングスイッチを押し、ボタンが外側に出ている状態にします。
- 4 付属の電源ケーブルをバックパネルの入力に接続します。
- 5 コンピューターでご使用の DAW (Digital Audio Workstation - デジタルワークステーション) と USB 接続します。
- 6 アクティブモニターまたはパッシブモニターを、パワー・アンプを経由して、MONITOR OUT ジャック A、B、および C (C は STUDIO XL のみ) に接続します。
- 7 背面の STUDIO/PHONES AMP 出力ジャック (STUDIO XL のみ) に、ヘッドフォンアンプを接続します。
- 8 2-TRACK 出力を外部録音デバイスに接続し、入力で信号を記録します。
- 9 STUDIO シリーズ用の最新の Windows ドライバーを入手するには、[www.behringer.com](http://www.behringer.com) にアクセスしてください。Mac ユーザーはドライバーをインストールする必要はありません。入力 1 と 2 を USB 経由で DAW に録音するには、ユニットの背面にある REC SRC SEL ボタン (IN 1/2 の位置) を押します。USB は、録音せずに同時にソースとして使用できます。すべてのソースを組み合わせたい 2トラック出力を録音するには、REC SRC SEL ボタンを 2-TR モードに設定します。
- 10 STUDIO XL では、CUE SOURCE は AUX MIX (CUE IN)、2-TR SOURCE、または USB 経由の DAW OUTPUTS 3/4 に設定します。

## レベルの設定:

- 1 外部ソースはすべて、音量を下げるかオフにしてから、POWER ボタンの位置を “ON” にします。
- 2 外部パワードスピーカー、パッシブスピーカーアンプおよびヘッドフォンアンプをオンにします。
- 3 聞きたいモニターソースに応じて、トップパネルの A、B または C (C は STUDIO XL のみ) いずれかのボタンを押し入れます。
- 4 DAW で音楽を再生し、モニターレベルを確認して調節します。必要に応じてモニター出力 TRIM レベルを調節します。
- 5 選択した入力チャンネルのゲインを、対応する TRIM コントロールを使用して調節します。トップパネルのレベルメーターで、ゲインが十分かを確認します。
- 6 VOLUME コントロールを徐々に上げていきます。音量が低い場合、選択したモニター (A、B または C) の TRIM コントロールを調節します。
- 7 背面の STUDIO/PHONES AMP 出力ジャックにヘッドフォンアンプを接続している場合、必要に応じて入力レベルを調節します。ヘッドフォンアンプの音量コントロールを徐々に上げ、適切なレベルに設定します。
- 8 ユニット前面の各ヘッドフォンジャックには、専用のボリュームコントロールがあります。ヘッドフォンを任意のジャックに接続し、それに従って音量を調整します。

- 9 外部記録装置に戻る送信時と録音時のレベル設定トップパネルに送信する入力のござりです (フィードバックループ) を選択し発生を回避するための他の入力ソースの選択キャンセルしてください。背面パネル 2-TRACK DAW オーディオインターフェースまたは外部録音デバイスに接続し、+4/-10 スイッチを使用してレベルを出力します。
- 10 内蔵 TALKBACK マイクロフォン信号は、STUDIO L および XL とともに、ヘッドフォン 1/2 の CUE バスか、または 2-TRACK 出力 (STUDIO XL のみ) にルーティングします。送信先のボタンを押し、マイクに向かって話します。信号の調節は、TALKBACK コントロールでおこないます。
- 11 STUDIO OUT ジャックに接続したスピーカーの音量調節は、出力ボタンを押して “ON” にし、トップパネルの STUDIO OUT コントロールを回します (STUDIO XL のみ)。



## 技術仕様

JP

	STUDIO XL	STUDIO L
<b>入力</b>		
入力	6	4
プリアンプ	2 x Midas 設計	
タイプ	2 x XLR/TRS コンボコネクタ (マイク / ライン)	
インピーダンス	マイク: 3 k $\Omega$ / ライン: 1 M $\Omega$	
ライン入力	4 x 1/4" TRS、平衡または不平衡、+4/-10 dB (入力 5/6 のみ)	2 x 1/4" TRS、平衡または不平衡、+4/-10 dB
	1 x 1/8" TRS ステレオ (入力 5/6)	1 x 1/8" TRS ステレオ (入力 3/4)
最大入力レベル	+22 dBu	
タルバック入力	1 x XLR	—
足踏みスイッチ	1 x 1/4" TRS	—
<b>出力</b>		
出力	5 ステレオ	3 ステレオ
ライン出力	10 x 1/4" TRS、平衡または不平衡	6 x 1/4" TRS、平衡または不平衡
ヘッドホン出力	2 x 1/4" TRS ステレオ	
最大出力レベル	+22 dBu	
<b>USB</b>		
タイプ	クラス準拠の USB2.0、タイプ B	
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 10 / Mac OS X 10.14 以降	
オーディオ	2 イン / 4 アウト	2 イン / 2 アウト
コンバーターの解像度	24 ビット	
サポートされているサンプリングレート	44.1、48、88.2、96、192 kHz	
<b>トークバックセクション</b>		
出力レベル	- $\infty$ ~ +10 dB	
タルバックレベル	- $\infty$ から最大	
トークバック先	2トラックまたはキュー	合図
トークバック入力	内部 (マイク) または外部 (XLR)	—
足踏みスイッチ	トークバックをアクティブにします	—

	STUDIO XL	STUDIO L
<b>コントロール</b>		
ファンタム電源	+48 V (入力 1/2)	
ボリューム	高精度ステレオトラックング VCA ボリュームコントロール 0~100%	
再生コントロール	モノラル、ミュート、ディム	
モニター選択	A、B、C	A、B
入力 1/2	48 V オン / オフ、ステレオオン / オフ、1/2 (チャンネル選択) オン / オフ	
入力 3/4	-12~ +12 dB トリム、3/4 (チャンネル選択) オン / オフ	
入力 5/6	-12~ +12 dB トリム、5/6 (チャンネル選択) オン / オフ	—
USB 入力	USB (チャンネル選択) のオン/オフ	
ミュート	-60 dB	
薄暗い	-20 dB	
キューソース	Aux Mix、ソース、USB 3/4	—
スタジオアウト	- $\infty$ から最大、オン / オフ	
直接監視	キューブレンドへの入力	
電話 1/2	レベルコントロール - $\infty$ から最大、個々のソース選択	レベル制御 - $\infty$ から最大、共通ソース選択
<b>システム</b>		
周波数応答	20 Hz~20 kHz ( $\pm$ 0.5 dB)	
信号対雑音比	<-90 dBu RMS、重み付けなし	
歪み (THD + N)	<0.01 % @ 1 kHz、ユニティゲイン、4 dBu 入力	
クロストーク	<-60dB @ 1 kHz、ユニティゲイン、4 dBu 入力	
<b>電力要件</b>		
主電源電圧	100~240 V、50/60 Hz	
電源	12 V DC 2000 mA	
消費電力	最大 18 W	
<b>物理的</b>		
標準動作温度範囲	5°C– 45°C (41°F – 113°F)	
寸法 (H x W x D)	80 x 328 x 163 mm (3.15 x 12.91 x 6.42")	80 x 252 x 163 mm (3.15 x 9.92 x 6.42")
重量	1.8 kg (3.97 ポンド)	1.5 kg (3.53 ポンド)

